

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第31号

えっ？定率減税全廃で今年もまた住民税大增税 区は庶民にばかり増税押しつける 国の悪政いいなりでない対応を！



五反田開発で区唯一のボウリング場が消滅。現在進行中の北品川開発で、今度はフットサルやダンスの活動場所となっている旧・大崎体育館も取り壊されかねません。ただでさえ少ないスポーツ施設をなくして超高層マンションばかり建ててどうするのでしょうか。

右の受話器は
住民税増税



左の受話器は
消えた年金

漫画：安藤たい作

川崎市には独自に基準を設け年間収入額が一定額以下の方は非課税となる「少額所得者の住民税減免制度」があります。要は自治体の姿勢の問題です。共産党品川区議団は既に行った区長への申し入れで、そして21日から始まる一般質問の中でも「区としてできる軽減策を」と求めていきます。

川崎市は独自に減免制度創設

03年の総選挙で「百年安心年金プラン」と言い、年金財源に定率減税の廃止分を充てよ、と旗振り役をつとめたのは公明党。実行に移したのは自公政権でした。ところが税金を集めるだけ集めておいてこの間の「消えた年金」騒ぎです。また、与党と同じく社保庁を解体し国の責任をも「消す」解決策を出したのが民主党。しかも、低所得者ほど負担の重くなる最悪の不公平税制・消費税の増税にも賛成の立場というのでは、同党の「格差是正」のスローガンも空しく響きます。

6月4日に住民税の通知が、続いて住民税に基づいて算出される国民健康保険料の通知が区役所から郵送されました。皆様の手元にはもう届きましたでしょうか。税源移譲の影響もあるとはいえ、昨年の半減に続き定率減税が今年はついに全廃されたことにより、2倍、3倍もの負担。高齢者の方にいたっては十倍に上がった方もいます。これでもか、という増税・負担増の大波に、わたしたちの暮らしも限界です。

通知が届き始めた5日火曜の午後からその週の金曜の終業時間までの窓口への苦情・問い合わせの件数は、直接訪問で750人、電話で1750件にも。昨年の規模を上回るこの問い合わせの多さの根っこには、「これ以上の負担は限界」という区民生活の困窮と、自分達が必死に納めている税金がきちんと使われているのか、という今の政治への不信や怒りがあります。

昨年引き続き役所には問い合わせ殺到

定率減税は景気対策のためとして、大企業減税・大金持ち減税とセットで99年に導入されました。ところが「景気の回復」を名目に今回廃止されたのは、私達の家計を直撃するこの定率減税のみ。あのバブル期以上の大もつげをあげている大企業に対する法人税率や、ごく一部の高額所得者にとっては笑いが止まらない所得税の最高税率は引き下げられたまま温存されました。こんな不公平なやり方があるのでしょうか。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。